別記様式第１号（第２関係）

令和４年度水産加工業原材料調達円滑化緊急対策事業に係る原材料調達円滑化計画の

認定申請書　兼　水産加工業原材料調達円滑化緊急対策事業助成金交付申請書

令和４年１２月　　日

公益財団法人　水産物安定供給推進機構

　　理事長　石原　葵　殿

住　　　　所

事業実施者名

代表者役職氏名

　令和４年度水産加工業原材料調達円滑化緊急対策事業に係る原材料調達円滑化計画を作成したので、別添のとおり、水産加工業原材料調達円滑化緊急対策事業助成要領（令和４年５月31日付け４水漁第392号水産庁長官承認）第２の規定に基づき認定を申請するとともに、第３の規定に基づき助成金　　　　　　円の交付を申請する。

別記様式第１号別添（第２関係）

１　申請者欄

|  |  |
| --- | --- |
| （フリガナ）個人：氏名法人：法人名と代表者名 |  |
|  |
| 法人番号（13桁） | ※個人の場合は記載不要○○○○○○○○○○○○○ |
| ホームページＵＲＬ | ※ホームページがない場合は記載不要 |
| 従業員数（常勤） | 人 | ※いなければ「－」と記載 |
| 資本金又は出資金額 | 万円 | ※個人の場合は「－」と記載※10億円以上の場合は「大企業」となるため本事業の申請不可 |
| 消費税の仕入控除 | 該当 | 控除区分 | ※該当欄に○印を記載。以下同じ |
|  | 課税事業者 |
|  | 免税・簡易課税事業者等 |
| 連絡担当 | （フリガナ）役職・氏名 | ※個人の場合は役職の記載不要 |
| 住所 | 〒 |
| 電話番号 |  |
| 携帯番号 |  |
| ＦＡＸ番号 |  |
| E-mailアドレス |  |
| 確認事項該当欄に○印を記載 | 確認事項 | 該当 |
| 中小企業者である |  |
| みなし中堅企業である |  |
| 中堅企業等である |  |

２　原材料調達円滑化計画

（１）現在利用している原材料の水産物の調達実績及び水産加工品製造実態

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 水産物 | 該当 | 現在利用している原材料 | 左記水産物を原材料とした水産加工品を製造する加工場所在地 |
| 調達先 | 金額（千円）又は数量（㎏） |
| さけ・ます類 |  |  |  |  |
| にしん |  |  |  |  |
| ひらめ・かれい類 |  |  |  |  |
| たら類 |  |  |  |  |
| ほっけ |  |  |  |  |
| めぬけ類 |  |  |  |  |
| えび類 |  |  |  |  |
| かに類 |  |  |  |  |
| 貝類（つぶがい、あかがい） |  |  |  |  |
| いか類 |  |  |  |  |
| なまこ類 |  |  |  |  |
| うに類 |  |  |  |  |
| 魚卵 |  |  |  |  |
| 海藻類 |  |  |  |  |
| ○○○○※その他、ウクライナ情勢により安定供給に支障が生じているものとして、水産庁長官が特に必要と認めているもの |  |  |  |  |

※過去１年間以内の原材料の調達実績及び日本国内での水産加工品製造実態がわかるものとして以下の①②③の書類に関し、①とともに②③のいずれかを１つ添付すること

　　　①原材料調達の実績を証する書類（任意の１回で可）

　　　②水産加工品の製品規格書（原材料の水産物名が表記されていること）

　　　③商品説明書等（原材料の水産物名が表記されていること）

（２）ウクライナ情勢により水産物の調達や水産加工品の販売に生じている又は生じるおそれがある支障について

①ウクライナ情勢により水産物の調達に生じている支障の具体的内容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 影響項目 | 該当 | 説明 |
| 取引先の変更が必要になった |  |  |
| 経費が上がった（見込みも含む） |  |  |
| 売上が減少した（見込みも含む） |  |  |
| その他 |  |  |

②支障が生じるおそれがあり将来に渡る事業継続を目指し、リスク回避のために調達先の変更や販売先の維持・拡大を目指す前向きな取組を行う場合、その具体的内容

|  |
| --- |
|  |

（３）水産加工品の供給を継続するための取組内容

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 取組の類型 | 類型 | 該当 |  |
| 原材料の調達方法を変更する |  | ※一つ以上に該当すること |
| 販路の維持・拡大を目指す |  |
| 原材料水産物名【加工場所在地】 | ※原材料水産物名ごとに、又はまとめて、加工場所在地を記載すること○○○○【○○県○○市】 |
| 取組実施期間 | ※補助対象期間は令和４年４月１日～令和５年３月３１日　令和　年　月　日～令和　年　月　日 |
| 計画の概要 | ※原材料調達円滑化計画の概要を記載すること※実施する事業として該当する以下のア～エの取組項目・経費区分ごとに、水産加工品の供給継続にどのように寄与するか、内容・必要性を記載すること（別紙記載可能）※以下のア～エの取組項目・経費区分ごとに、参考とした単価等の根拠となる資料を添付すること※経費の欄は、課税事業者においては税抜金額を、免税・簡易課税事業者等においては税込金額を記載すること |
| 確認事項 | 該当 |
| 本事業に係る取組の実施以降も、引き続き、水産加工品の供給に係る事業を継続する意思を有している |  |
| 本事業に係る取組について、国等の他の補助事業による支援を現に受け、又は受ける予定となっていない |  |
| 取組項目・経費区分・該当 | 内容・必要性 | 経費内訳（単価×個数・回数等） | 経費（円） |
| ア　原材料の調達方法（調達水産物、調達先、調達経路）の変更 |  |
| 　運送経費 |  |  |  |  |
| 　製氷購入費 |  |  |  |  |
| イ　新商品開発 |  |
| 　原材料費 |  |  |  |  |
| 　梱包用資材費 |  |  |  |  |
| 　新商品開発用資材費 |  |  |  |  |
| 　製品パッケージ作成費 |  |  |  |  |
| 　専門家派遣費 |  |  |  |  |
| ウ　販売促進・広告宣伝 |  |
| 　商談旅費 |  |  |  |  |
| 　サンプル製品用原材料費 |  |  |  |  |
| 　サンプル製品送料 |  |  |  |  |
| 　広告宣伝費 |  |  |  |  |
| エ　加工機器の導入 |  |
| 　水産物加工機器の導入費 |  |  |  |  |
| 　機器の設置費 |  |  |  |  |
| 経費合計　　　　　 |  |
| 助成事業費　　　　（ａ） |  |
| 助成率　　　　　　（ｂ） |  |
| 助成金交付申請額　（ａ）×（ｂ）　円未満切捨て |  |

※１　複数課題の申請時には、適宜、（３）の様式の経費合計までを追加

（４）経費の調達等

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 経費の調達一覧 |  | 助成金交付までの資金調達方法 |
| 区分 | 金額(円) | 資金調達先 |  | 区分 | 金額(円) | 資金調達先 |
| 1.自己資金 |  |  |  | 2-1　自己資金 |  |  |
| 2.助成金額（※２） |  |  |  | 2-2　金融機関からの借入金 |  |  |
| 3.金融機関からの借入金 |  |  |  | 2-3　その他 |  |  |
| 4.その他 |  |  |  |  |  |  |
| 5.合計額（※３） |  |  |  |  |  |  |

（※２）助成金額は、助成金交付申請額と一致させること

（※３）合計額は、経費合計と一致させること

（※４）助成対象機器等を担保に供し、自己資金の全部または一部を国が行っている制度融資から融資を受ける場合は、次の表に必要事項を記載すること

|  |  |
| --- | --- |
| 金融機関名 |  |
| 制度融資名 |  |
| 融資を受けようとする金額 |  |
| 償還年数 |  |
| その他必要な事項 |  |

株主構成等　　令和４年○月○日現在

１　株主構成

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種別・属性 | 社名等 | 保有株数（株） | 割合（％） |
| 個人 | ○○○○ほか○○名 |  |  |
| 中小企業 |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 中堅企業 |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 大企業 |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 計 |  |  |  |

※個人株主は、合算して最上行の「○○○○ほか○名」を適宜変更し、延べ保有株数を記入してください。

※必要に応じて行を追加してください。

２　役員構成（社外取締役及び監査役を除く）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | 役職・氏名 | 兼職先の企業 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | なし | 中小企業 | 中堅企業 | 大企業 |
| 1 | 代表取締役　○○○○ | － | － | － | － |
| 2 |  | － | － | － | － |
| 3 |  | － | － | － | － |
| 4 |  | － | － | － | － |
| 5 |  | － | － | － | － |
| 6 |  | － | － | － | － |

※該当する兼職先企業欄の「－」を「○」に変更してください。

※上記２表において

中堅企業に支配されている中小企業（みなし中堅企業）は「中堅企業」に該当します。

大企業に支配されている中小企業（みなし大企業）は「大企業」に該当します。

以上相違ありません。

申請者（会社）名

代表者名